

令和4年度 第1回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

- 開催方法 オンライン会議及び書面審議による複合開催
- 日 時 オンライン会議：令和4年8月24日（水）10時から11時30分
書面審議：令和4年8月12日（金）～30日（火）意見徴収
- 出席者 オンライン会議：委員及びオブザーバーの計7人、町事務局等8人
書面審議：委員及びオブザーバーの計13人

○協議内容と主な意見等

- ・「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要及び昨年度までの取組状況、令和3年度の数値目標の評価、各種推進施策の進捗状況について、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●第3子が安心して産める子育て支援に関する取組

- ・核家族化の進行と新型コロナウイルス感染症の影響で孤立する母親にとって、産後ケア事業はとても良い取組だと思う。取組があまり周知されていないため、PRを積極的に行ってほしい。
- ・町で内職の斡旋があると良いと思う。特に子どもが寝ている間に作業できるので、材料を自宅まで届けてくれる内職を紹介してもらえると良い。
- ・子育て支援に関するホームページや案内チラシなどは文章が多く、産後で文章の理解力や記憶力が低下している中では内容を理解するのが難しい。図やイラストを使用し、一目で概要がわかるようになっていると有難い。

●令和3年度の数値目標に対する評価について（KPI：重要業績評価指標）

- ・子育てしやすい環境づくりを進める中で、待機児童数0人を目指すのであれば、「保育所等の3歳未満児の受入数」と合わせて待機児童数の状況も把握した方が良い。
- ・製造品出荷額の増加が見込めない中で、町として仕事やお金を生み出し、まちを活性化するための対策を考えた方が良い。また、数値を分析する上では新型コロナウイルス感染症だけでなく、自動車関係の部品・半導体不足や工業用水の止水の問題などの様々な社会情勢の変化や問題を把握する必要がある。
- ・町外であるラグーナビーチで凧揚げイベントを開催したことは画期的だと思うが、観光の施策としてどう評価をしているか明確にしてほしい。また、開催場所が異なるため、これまでの実績値とは比較できないと思う。
- ・子育て世帯にはファミリー・サポート・センターの案内がくるが、援助会員になってくれそうな子育てがひと段落した世代、定年後の世代に対しても取組もPRし、内容を拡充する必要がある。
- ・「保育所等の3歳未満児受入れ人数」に関して、保育士の確保ができていないか疑問に思う。定年後の保育士再雇用、保育士資格の取得援助などもあったら良い。

●「道の駅来場者数（産直・飲食来場者数）（人）」のKPIの是正について

- ・令和元年から令和3年度の実績値をみると、コロナ禍の影響はあまりないように見受けられるため、令和3年度までの数値を使って目標値を是正することは問題がないように思う。
- ・道の駅の来場者数が増えにくい要因として、駐車場が飽和しているという課題

があるのであれば、今後はその対策がより必要になる。

●推進施策の取組状況について

- ・ロケツーリズム事業の目的はロケの誘致ではなく、ロケを通じたツーリズムへ繋げることである。事業の評価方法が難しいが、SNSにおける投稿を分析するなどして、投稿の話題性や新たな動きへの展開などを評価してほしい。
- ・with コロナの中でリモートワークが急速に一般化しており、今後は空き家を活用した事業へ注目がさらに集まると思うため、リモートワークに関する情報発信の状況も確認した方が良い。
- ・安全テラスセンター24 に関する内容で「災害に強いひとづくり」とあるが、人だけでなく、環境や基盤整備も必要だと思う。
- ・町の防災対策は安全テラスセンター24 が中心となって活動していると思うが、新型コロナウイルス感染症を考慮して、震災や風水害などの大規模災害への対策と体制づくりをどのように実施しているかが町民に伝わるよう活動してほしい。
- ・「地方創生に資する DX の推進」や「5G などの情報通信基盤の早期整備」に関する取組がないが、行政のデジタル化は非常に遅れていると思うため、行政及び町民へデジタル化を普及させる取組を進める専門組織をつくり、担当部署で取組を決めて進めてほしい。

●デジタル田園都市国家構想基本方針について

- ・令和4年6月に「デジタル田園都市国家構想基本方針」が発表され、今後、「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」も本構想に吸収されていく方針が示されている。資料としてヒューマン・デジタル・グリーンに関する幸田町の取組が整理されているが、今後も継続して実施してほしい。

以 上